

魔宮伝説 賢者の石を探せ

IDCロボットコンテスト 大学国際交流大会2003代表選考会

きいだかつひと
城井田 勝仁
(ロボマガ記者)



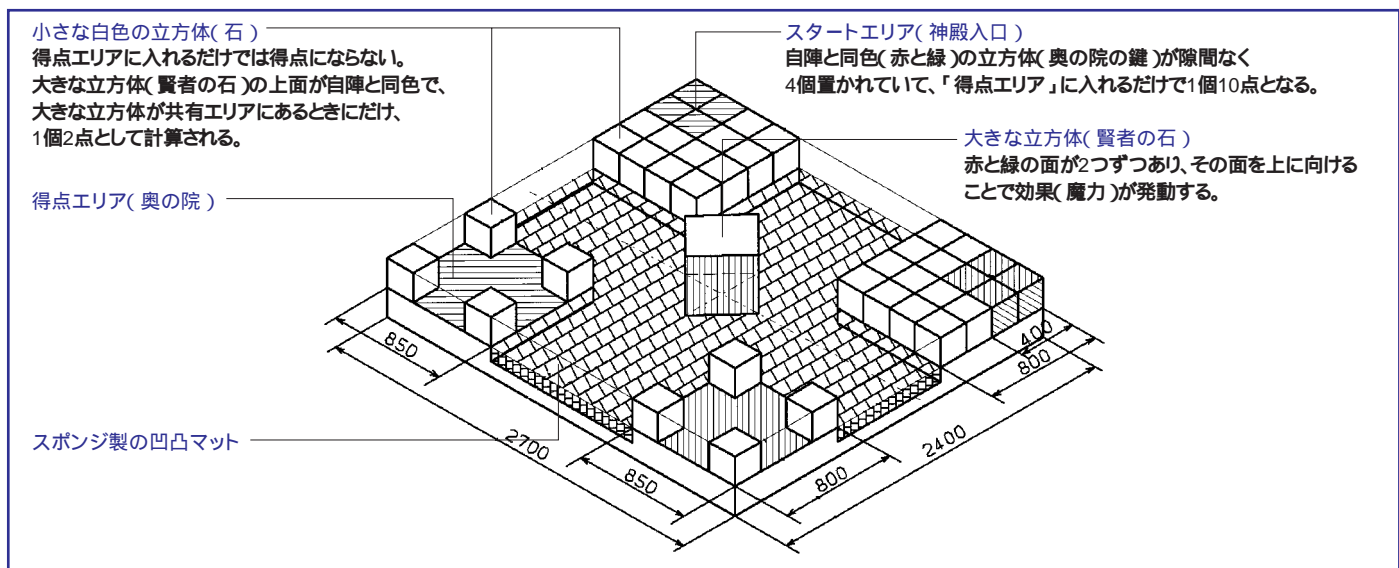
優勝した萩野真一朗くん(右)と、準優勝の加島智明くん(左)。



「IDCロボットコンテスト大学国際交流大会2003」への出場が決まった、3位までの入賞者(下段)と、観客からの投票で選出された3人(上段)。

優勝	萩野 真一朗 制御システム工学科
2位	加島 智明 制御システム工学科
3位	平井 隆詞 機械科学科

観客投票による選出	
大賀 豊文	制御システム工学科
瀬古 圭介	制御システム工学科
吉田 やまと	開発システム



2003年7月5日(土)、東京工業大学(東京都目黒区)で、もの造り講義「創造設計第一」の締めくくりとしてのロボコンが開催された。「IDCロボットコンテスト大学国際交流大会」の代表選考会を兼ねるもので、3位までの入賞者と、アンケートで選ばれた3名が、2003年8月1日~13日に名古屋で開催されるその大会への出場権を得る。

「魔宮伝説 賢者の石を探せ」と名づけられた今年の競技は、スタートエリアに置かれた立方体を、得点エリアまで運ぶ、というものである。この競技を制したのは、意外な方法で高得点を実現した萩野真一朗くんだった。

「創造設計第一」発表競技会は「IDCロボットコンテスト大学国際交流大会」へとつながる

東京工業大学の制御システム工学科で開講されている、もの造り講義「創造設計第一」は、決められた材料を用いて、特定

の目的遂行のためのロボットを創造するというものだ。発表競技会は、その締めくくりとして行われる。競技内容は毎年異なるが、一定の材料からロボットを製作するスタイルは一貫している。純粋に、ロボットのアイデアと、その製作技術が競われるのだ。

この「創造設計第一」の講義は、東京工業大学だけで行われているものではない。マサチューセッツ工科大学(アメリカ)をはじめとして、数力国の数大学で同様の授業が実施されている。それらの大学が一堂に会して実施されるのが、「IDCロボットコンテスト大学国際交流大会」だ。「創